

第七十四回
帝國議會
貴族院

保險業法改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十四年三月十五日(水曜日)午前十時
十九分開會

○委員長(伯爵樺山愛輔君)

ソレデハ是カラ會議ヲ開キマス、昨日モ御話申上ゲマシタ通り、是カラ先ハ此ノ法律案ハ大體現行法案ノ通りデアアルサウデゴザイマスカラ、今日ノ政府委員ノ説明モ成ルタケ一ツ簡易ニヤツテ載キマス、ドウカ成ルベク簡明ニ願ヒマス

○政府委員(牧植雄君)

昨日ニ引續キマシテ百八條カラ御説明ヲ申上ゲマス、第六章解散ノ規定ハ大體現行法ト同ジデゴザイマス、第百八條ハ保險會社ノ解散事由ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法デハ七十二條ニナツテ居リマス、特ニ説明ヲ申上ゲルコトモゴザイマセスト思ヒマス、第百九條ハ解散、合併及移轉ノ決議ニ付テハ特別決議ヲ要スル旨ノ規定デゴザイマシテ、現行法ノ二十條ノ二並ニ七十三條ト同ジデゴザイマス、第百十條ハ「解散ノ決議、合併及保險契約ノ移轉ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ」ト云フ規定デゴザイマシテ、現行法ノ二十四條ノ四、二十三條、七十三條ニ該當致シマス、第百十

一條ハ契約ノ移轉ヲ爲シ得ル旨ノ規定デゴザイマシテ、現行法ノ十三條ノ五ト全然同一デゴザイマス、第百十二條ハ、其ノ場合ニ於ケル公告及異議ノ催告ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ二十條ノ三及四十二條ノ二ト全然同ジデゴザイマス、第百十三條ハ契約移轉ノ場合ノ新契約ノ停止ニ關スル規定デゴザイマス、現行法ノ二十條ノ五ト全然同ジデゴザイマシテ、別段御説明ヲ申上ゲル迄モナイカト思ヒマス、第百十四條ハ契約移轉ノ場合ニ於テ、契約ヲ以テ契約條項ノ變更ヲ爲シ得ル旨ノ規定デゴザイマス、現行法ノ二十條ノ六、四十一條ノ二ガ之ニ該當致シマス、第百十五條ハ保險金額ノ削減ヲ定ムル場合ノ規定ト、契約條項ノ變更ヲ定ムル場合ノ手續規定デ、現行法デハ第二十條ノ七、四十一條ノ二ガ之ニ該當致シマス、第百十六條ハ契約移轉ノ公告ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ二十條ノ八ガ之ニ該當致シマス、第百十七條ハ契約移轉ノ場合ノ會社間ノ權利義務ノ承繼ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法デハ二十條ノ九、及ビ四十一條ノ二ガ之ニ該當致シマス、第百十八條ハ「保險契約ノ移轉

アリタル場合ニ於テ移轉ヲ受ケタル會社ガ相互會社ナルトキハ其ノ保險契約者ハ其ノ會社ニ入社ス」ト云フ規定デゴザイマシテ、現行法ノ四十一條ノ三ト全然同一趣旨デゴザイマス、第百十九條ハ解散後ノ契約移轉ノ決議ヲ爲シ得ルト云フ規定デゴザイマシテ、現行法ノ二十條ノ十一ガ之ニ該當致シマス、第百二十條ハ契約移轉ニ因ル解散ノ登記申請書ノ添附書類ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法デハ二十條ノ十二、四十一條ノ二ガ之ニ該當致シマス、第百二十一條カラ第百二十六條迄ハ、契約ノ強制移轉ノ場合ニ於ケル手續規定デゴザイマス、第百二十一條ハ強制移轉ノ場合ノ相手方トノ協議ニ關スル規定ヲ定メタモノデゴザイマス、第二項、三項、四項ニ付テハ手續ニ關スル規定デゴザイマス、御尋ニ依リマシテ御説明申上ゲタイト考ヘテ居リマス、第百二十二條ハ強制移轉ノ場合ノ財産ノ轉移ニ關スル規定デゴザイマシテ、移轉スベキ保險契約ニ關スル準備金ノ金額ニ相當スル財産ヲ移轉スベキコトヲ定メナケレバナラナイト云フ規定デゴザイマス、即チ相手會社ト保險契約者保護ノ規定デゴザイマス、二項、三項

ハ任意移轉ノ場合ノ規定ヲ準用シタモノデゴザイマス、第百二十三條ハ契約移轉ヲ受クル會社ノ保險契約者保護ノ規定デゴザイマス、特別ノ計算ヲ爲スベキコトヲ命ジマシテ、移轉ヲ受クル會社ノ保險契約者ヲ保護スル趣旨デゴザイマス、第百二十四條ハ契約ノ移轉ニ關スル協議ヲ爲サナイ、若シクハ爲スコト能ハズ、又ハ協議調ハザルトキハ、主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リマシテ、契約ノ移轉ニ付キ必要ナル決定ヲ爲スコトヲ得ル旨ノ規定デゴザイマシテ、既ニ御説明申上ゲタ所デゴザイマス、第百二十五條ハ強制移轉ノ場合ニ於ケル效力發生ニ關スル規定デゴザイマス、第二項ハ公告ニ關スル規定デゴザイマス、第百二十六條ハ第百三條、第百四條……ト申シマスノハ管理ノ場合ノ規定デアリマス、第百十七條、第百十八條、第百二十條ハ任意ノ契約移轉ノ場合ノ規定デアリマス、是等ノ規定ヲ準用スルト云フ趣旨デゴザイマシテ、特ニ申上ゲル點ハナイト考ヘマス、第百二十七條ハ「保險會社ハ其ノ營業ノ讓渡ヲ爲スコトヲ得ズ」ト云フノデゴザイマシテ、是ハ既ニ要旨ニ付テ御説明ヲ申上ゲタ所デゴザイマス、第百二十八條

乃至百三十一條ハ合併ニ關スル規定デゴザイマス、第百二十八條ハ現行法ノ二十二條、四十二條ノ二ト同一デゴザイマス、第百二十九條ハ二十二條ノ二ト同一趣旨ノ規定デゴザイマス、第百三十條ハ相互會社ヲ一方ノ相手方トスル合併ノ規定デゴザイマス、「相互會社ハ他ノ保險會社ト合併ヲ爲スコトヲ得」ト云フ規定ヲ設ケマシテ、其ノ場合ニ於テハ「合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ハ相互會社ナルコトヲ要ス但シ合併ヲ爲ス會社ノ一方ガ株式會社ナルトキハ合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ハ株式會社ナルコトヲ得」ト云フ旨ノ規定デアリマス、即チ相互會社ト株式會社ガ合併致シマシテ出來上ルモノハ相互會社デモ宜シイ株式會社デモ宜シイト云フ定規デアリマシテ、是ハ新タニ設ケラレタ定規デゴザイマス、之ニ付キマシテモ先般ノ要旨ニ關スル御説明ニ於キマシテ御説明ヲ申上ゲタ所デゴザイマス、二項以下ハ準用規定等ニ關スル定メデゴザイマス、第百三十一條ハ此ノ合併ガ成リタル場合ニ於キマシテ、合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ガ相互會社デアルトキニハ、合併ニ因リテ解散スル會社ノ保險契約者ハ其ノ會社ニ入社スル、株式會社デ

アルトキハ相互會社ノ社員ハ其ノ地位ヲ失フ、但シ保險契約者タルノ地位ハ存続スルト云フ旨ノ規定デアリマシテ、此ノ合併ニ伴フ當然ノ規定ヲ定メタニ過ギナイノデゴザイマス、第二項ハ合併ノ報告總會ニ關スル規定デゴザイマシテ、新商法ノ四百十二條ニ對應シテ居リマス、第三項ハ新タニ設立スル會社ノ創立總會ノ規定デゴザイマス、新商法ノ四百十三條ノ第三項ニ對應スル規定デゴザイマス、以上

○山岡萬之助君 此ノ解散ノ規定ハ、規定中ノ事柄ニ付テ相互會社ニモ適用サレル分ガアルヤウデスガ、相互會社ニハ第七節第七十二條以下ニ解散ガ規定シテアリマス、此ノ兩者ノ關係ハドウ云フ風ナ考ヘ方デアリマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 此ノ改正法ヲ編纂スル時ニ、少シ章節ノ區分ヲ改メマシテ、相互會社、株式會社雙方ニ共通ノモノニ付キマシテハ、此ノ改正案ノ解散ノ章ニ入レマシク、サウシテ相互會社獨得ノ解散事由トナルベキモノニ付キマシテハ、相互會社ノ章ニ分ケテ入レタ譯デゴザイマス、御承知ノ通り株式會社ニ付キマシテハ商法ノ規定ノ適用ガゴザイマスノデ、ソレ等ノ鈞合ヲ考ヘマシテ、今申上ゲマシタヤウナ工合

ニ分ケテアリマス

○山岡萬之助君 此ノ解散ニ付キマシテハ大體現行法ヲ土臺ニシテ、新シイモノノ必要ダケ補正シタト云フ御説明ヲ承リマシテ、理解致シマスノデアリマス、元來此ノ保險會社ノ權利關係其ノ他義務ノ關係ハ、非常ニ此ノ頃進歩シテ參ッテ居ルノデアリマス、殊ニ本案ニ於テハ監督統制等會社ノ業務ヲシテ堅實ニ永續セシメルト云フ考ヘ方ヲ根本義ト致シテ居ルコトハ、今迄ノ御説明ニ依ッテ明カナコトト思フノデアリマス、然ル所解散以下ノ規定ニ於キマシテハ、通常ノ會社ト同様ノ觀念ニ依ッテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、斯ウ云フ點ハ相當改正ヲ加ヘテ宜クハナカッタ私ハ思フノデアリマス、保險事業ト云フモノガ、火災ノ如ク年々繰返スモノハ姑ク別トシマシテモ、生命保險若シクハ之ニ類スル長期ノモノニ至リマスルト、一體其ノ存続期間ヲ定メルト云フヤウナコトガ甚ダ適當デナイコトニナルノデアリマスガ、コンナ事ハ元保險事業ガ初メテ行ハレタト云フ時代ニハ、矢張り一種ノ營業デアアル、商業デアアルト云フ風ナコトデアアルカラ、外ノ會社ト何等變ラナカッタと思フノデアリマス、本案ニ於キマシテモ第百十條ノ解散ノ決議、合

併、保險契約ノ移轉ノ決議、サウ云フコトハ主務大臣ノ認可ヲ受ケナケレバ效力ヲ發生シナイト云フコトハ、改正案ノ趣旨ノ最モ適當トスルコトナノデ、在來カラモハサウ云フ形ヲ存シテ居ッタヤウデアリマス、斯ウ云フコトガ寧ロ會社ノ消滅スル關係ニ於テハ最モ大事ナコトデアッテ、主務省ハ常ニ深キ監督ヲスルト云フ建前ニナッテ居ル、其ノ會社ガドウシテモ存続出來ナイトキニハ、主務省自ラ進ンデ解散ヲ命ズル、ソレガ爲ニ管理ノ規定ニ於テ營業ガ、事業ガ困難ニナリ或ハ繼續ガ不適當ナ場合ニハ管理ヲ致シ、其ノ流レトシテ解散ニ移ルト云フコトモアリマセウト思ヒマスガ、既ニ斯ウ云フ規定ガアリマスト云フト、此ノ續キトシテ進ムベキモノデアリ、又商法ニ於テモ會社ノ整理ト云フコトガ、早く危險状態ニナラス中ニ整理ヲシテ、サウシテ不都合ノモノハ其ノ儘破産ニ移行シテシマフ、斯ウ云フ風ノ考ヘ方デアッテ、商法自體ガ破産ト云フコトヲ非常ニ避ケテ居ル、此ノ本案ノ目的トシテ居ル保險事業ノ如キハ、破産ヲ受ケルト云フヤウナコトハ非常ニ忌ムベキコトデアアル、斯クノ如キコトハナカラシトヲ希望スルノデアリマス、デアアルカラシテ從來ノ立法通り會社ノ破産ト云フコトヲ

此處ニ示シテ、破産スレバ解散スル、此ノ位被保險者ニ取ツテ危險ナコトハナイノデアリマス、デアルカラ斯ウ云フ規定無シニ致シマシテ、矢張り整理トカ、管理トカ云フヤウナ所カラ豫防政策ヲ執ツテ、其ノ結果トシテ已ムヲ得ズ破産ニ移行スルト云フヤウナコトノ建前ニ法ヲ立テルコトガ相當デハナカッタカ、今後ハサウ云フ風ノ事柄ノ運用ニ少クトモ行ク必要ガ私ハアルト思ヒマス、第一ニ今日迄立案サレル間ニ、サウ云フコトニ關シテハ何カ御研究ガアッタデアラウカ、如何デアリマスカ、第二ニハ、之ヲ運用スルニ當リマシテハ是非サウ云ウタ考ヘラシテ戴キタイト云フコト、長イ間保險料ヲ支拂ヒ、終ヒ迄行クト云フト郵便貯金ヲシタヨリモ全ク悪イ、僅カノ金ヲ貰フ、サウスルト高イ料金ヲ拂ツテ僅カナモノヲ貰フ、是ハ本人ガサウ云フ詰ラナイ會社ニ入ツタカラ、入ルノガ悪インダト云フ譯ニハ私ハ行カヌト思ヒマス、保險事業ノ如キ公益事業ハ過去ニ於テハ随分不都合ナコトガアッタノデアリマスカ、今後ハサウ云フヤウナコトガアツテハ私ハナラヌト思フ、然ルニ此ノ案ニ於テモ保險金ノ削減ト云フコトガ二三箇所出テ居リマス、保險金ヲ削減シテシマフト云フヤウナ考ヘ方モ、既ニドウ

モイカヌコトデヤナイカト思フ、私ハ政府トシテサウ云フヤウナコトナシニ、保險金ハドウ云フ途ヲ執ツテモ拂フベキデ、最後ノ責任ハ私ハ國家ニ在ルト思ヒマス、斯ウ云フ長イ間貯蓄ヲシテ行ツタモノヲ半減シテシマフト云フヤウナコトハ、ドウモ當ヲ得ナイコトデ、サウ云フ事柄ニ關シマシテ一應政府ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(牧植雄君) 山岡サンノ御意見、實ハ全然同ジヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、昨日モチヨット申上ゲマシタガ、保險ヲ監督スルニ付キマシテ一番要諦ト考ヘマス所ハ、現在ノ保險契約者ニ損害ヲ與ヘナイヤウニスルコト、如何ナル狀態ガ發生致シマシテモ、保險契約者ニ損害ヲ與ヘナイコトニスルコト云フコトガ要諦デアラウカト考ヘマス、ト申シマスノハ從來ノ經驗カラ申シマスルト、或ル保險團體ニ付キマシテ非常ニ不安ナ狀態ガ發生致シマスルト、必ズ解約等ノ續出ニ依リマシテ契約者ニ非常ニ不利益ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、是ハ最モ責任ノアル監督スル上ニ於キマシテ避ケネバナラナイ所デアリマシテ、今御説ノ通りニ先ツ第一ニ、如何ナル事ガ起ツテモ保險團體ヲ維持シロト云フ御趣旨ハ、私共最モ考慮シナケレバナラヌ點デア

ラウト考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ法律ノ改正ガ出來上ガッタ後ニ於キマシテハ、其ノ精神ガ最モ根本的ノ問題デアラウト考ヘテ居リマス、法律ニ於キマシテハ第百條デ非常ニ業務ノ成績ガ悪クナツタ場合ニ於キマシテモ、事業ノ停止、業務及財産ノ管理、契約ノ移轉ト云フヤウナコトヲ命ズルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスガ、是等ニ付キマシテハ出來得ル限リ先ツ第一ニ是等ノ方法ニ依ツテ契約ノ存續ヲ圖ル、破産トカ、單純ナル解散ト云フヤウナコトニ至ルコトガ、保險契約者ニ對シテ非常ニ不利益ヲ與ヘルト云フコトヲ十分考ヘテ居ル次第デアリマス、從ツテ單純ナル解散、破産ト云フヤウナコトニ至ラナイ前ニ、色々ナ方法ヲ今回ノ改正法律ニ盛ツデアリマシテ、是等ノ方法ヲ御趣旨ノ通リニ運用致シマシテ、サウシテ保險契約者ノ保護ノ根本精神ヲ現スヤウニ考ヘテ行キタイト思ツテ居ル次第デアリマス、尙存續期間等ニ付キマシテノ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ損害保險會社ニ實例ガアツタノデゴザイマシテ掲ゲタ譯デアリマス、多クノ場合ニ斯ウ云フモノガアル譯デハゴザイマセ

ノアル所ハ諒解致シマシタガ、存續期間ニ付キマシテモ、或ル會社ニサウ云フ實例ガアルカラト云フ御話デアリマスカ、マア過去ニ於テサウ云フコトガアリマスレバ、ソレモ書イテ置クコトモ已ムヲ得ナイコトデアリマセウ、唯運用ニ當リマシテ今御話ノヤウニ、斯ウ云フヤウナ通常商法ノ商事會社ト同様ナル事ニ依ツテ會社ガ消滅スルト云フヤウナ考ヘ方ガ不適當デアリハシナイカ、將來ニ於テハ何レ又法ヲ運用スルコトノミデナク、改正スルコトモアラウト思ヒマス、十分御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、サウ云フ同様ナ趣旨ニ於テ此ノ會社ガ、所謂大會社中小會社ト云フモノガ今日モ自然アル譯デアリマス、斯ウ云フ事業デハ中小會社ト云フヤウナモノハ如何ナル關係ニ於テ之ヲ立派ナモノニスルカ、小サクテモ内容ガ立派デアレバ、ソレハ宜シイノデアリマスカ、内容ガ立派ダケデモ宜イトモ言ヘナイ、詰リ内容ガ良クナルニハ相當大キクナラナケレバナラヌ、ソレ等ニ付テ之ヲ業務ヲ改善ヲシテ進ムト云フヤウニナリマス、相當統制ヲ強化シテ、不當ナル競争ナシニ、而シテ中小會社ノ信用モ政府ニ於テ之ヲ高ムル、間違ガナイト云フ風ナコトガ一般ニ理解出來ルヤウニナルコトガ必

テシマフト云フヤウナ考ヘ方モ、既ニドウ

起ツテモ保險團體ヲ維持シロト云フ御趣旨ハ、私共最モ考慮シナケレバナラヌ點デア

○山岡萬之助君 只今政府ノ御説明デ精神

トガ一般ニ理解出來ルヤウニナルコトガ必

要デアルト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテハ此ノ年々ノ保險ト云フモノモ相當額ニ上ルデアリマセウガ、統計上今年ハ何程ト云フ關係デ、五年乃至十年ノ統計ヲ取リマスレバ、一年ノ保險契約高ト云フモノハ自然分ルト思フノデアリマス、ドノ會社モ非常ニ競争ヲ致シテ居ル、大會社ニナレバ大會社ニナル程競争ヲシテ、少シデモ契約高ガ高マランコトヲ骨ヲ折ツテ居ル、是ハ營業デアリマスルカラ、サウ云フコトモ自然ニ起キテ來ルコトデアリマセウガ、併シ斯ウ云フ風ナ公益事業ガサウ云フ強烈ニ競争ラスルト云フコトハ、寧口適當デナカラウト思フノデアリマス、政府ニ於テソレ等ノ關係ヲ調和シテ、中小會社ニ於テモ相當ナ保險契約、即チ新契約ノ募集ガ出來ルト云フヤウナコトニ付テ、矢張り御考ニナル必要ガアルデハナイカ、ソレニ付テ其ノ統制規定ガ今度ハ出來テ居リマスルガ、統制デドウ云フコトヲスルカト云フコトニ付テ御提出ニナツタモノハ、保險率トカ其ノ他ノサウ云フ程度ノ度合ノモノニ止ツテ居リマスルガ、モウ少シ進ンデ此ノ保險會社ノ各社ノ聯合ヲ強メルト申シマスカ、サウシテ保險契約ノ關係ヲ公平ニ行クヤウニ、何カ適當ナ御考ヲ以テ中小會社ノ相當ナ新契約

ノ出來ル建前ニ立ツト云フコトニナラナグレバ、中小會社ノ發達ト云フコトハ出來ナイト思フノデス、サウ云ツタコトニ關シテ政府ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(牧植雄君) 保險會社ノ現状ヲ見マスト、規模ニ於キマシテ非常ニ大キイモノト小キイモノガアル、大キイモノガ必ズシモ内容ガ良イトハ申上ゲル譯デアリマセヌ、又小キイモノニモ非常ニ内容ノ宜シイモノモゴザイマス、是等ノモノガ事業ヲ經營スルニ當リマシテ、矢張り大キナモノハ經營規模ガ大キイガ爲ニ、色々ナ設備ガ備ツテ居ル、ソレ等ノ備ツテ居ル設備ヲ利用致シマシテ競争致シマスルカラ、矢張り是等ノ設備ニ於テ劣ルト云フモノハ勢ヒ競争上不利ナ立場ニ立ツノデアリマス、ソレガ最近ニ於キマシテハ相當大小ノ懸隔ヲ著シクスルヤウナ傾向ガアリマシテ、之ニ伴ヒマスル弊害モアラウカト考ヘルノデアリマス、併シナガラ中小ノ規模ヲ持ツテ居ル會社ト云フモノニモ非常ニ成績ノ好イモノモアリマス、中ニハ惡イモノモアリマスカ、矢張り非常ニ激シイ競争ニ負ケテ居ル、或ハ極端ナ競争ノ場合ニ於キマシテ、先日モ申上ゲマシタ通りニ他社ノ業績ヲ擧ゲテ比較シマシテ、サウシテ私ノ方ノ會社ノ方ガ有利デ

アルト云フコトヲ、謂ハバ契約スル者ニ取リマシテハ知識ガ薄イノデアリマスカラ、色々ナ比較ヲ致シマシテ、既ニ契約ガ出來テ居ルモノヲ取ツテ來ル、先般申上ゲマシタ通りニ業界デ掠奪募集トカ申シテ居リマスカ、サウ云フコトヲヤツテ居ル、サウ云フコトガ非常ニ弊害ヲ齎シテ居リマシテ、是ガ爲ニ業績ガ擧ツテ居ルモノモアルノデアリマス、是等ノ關係ヲ能ク考ヘマスト、矢張り業界ガ自覺ヲ致シマシテ、自分ノ所ダケ良ケレバ宜イト云フヤウナヤリ方其ノモノガ大キナ弊害ヲ齎シテ居ルト云フコトニ氣ガ付カナクテハナラナイト思ヒマス、保險業界全般ノ信用ヲ高メルコトガ必要デアル、處ガ今申上ゲタヤウナコトヲヤツテ居レバ、保險業界全般ノ信用ヲ失ツテ行クノデアリマス、サウ致シマシテ一方ニハ益、大キクナルモノガアリ、小キイモノガ必ズ小サクナル譯デアリマセヌガ、現狀維持若シクハ前ニ伸ビルコトガ出來ナイ、是ガ全體カラ考ヘマスト、却テ保險事業ノ發展ニハ宜シクナイト云フコトガ言ハレル譯デアリマス、結局中小ノ會社ニシテ中ニ伸ビ難イモノガアルト云フノハ、今申上ゲタヤウナ關係カラ來ル點ガ多カラウト考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ今回ノ法律改正ニ於

キマシテ、監督規定ガ色々整備セラレテ居リマス、之ニ依ツテ監督官廳トシテ色々處置ガ執リ得ルコトニナツテ居ルコトハ、監督ニ在ル者トシテ非常ニ有難イト思ツテ居リマスガ、今御話ノ統制協定ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ガ改善セラル、ヤウニスルコトガ、私ハ最モ急務デアルト思ツテ居リマス、先日御尋ガゴザイマシテ、統制協定ガ出來テモ、ソレガ行ハレルヤウニ出來ルカ出來ナイカト云フ御話デゴザイマスカ、是ハ他ノ監督規定ノ強化ニ依リマシテ、仕向ケテ行クコトガ餘程ヤリヨクナツタヤウニ考ヘルノデアリマス、從ツテ今ノヤウナ點ガ一番保險業界ニ對スル考ノ根本ニナリマシテ、サウシテ是等ノ弊害ヲ除去スル、弊害ヲ除去スルト申シマシテモ、之ニ付テ非常ニ不満ヲ持ツ者モアリマセウガ、保險業界全般ト云フコトヲ考ヘルナラバ、サウ云フ謂ハバ勝手ナコトヲ言フベキデハナイノデアリマシテ、是等ノ點ハ道德ヲ説クヤウナ考ノミデハ行カナイノデアリマシテ、或程度法律ノ力ニ依ラナケレバ私共ハ行カナイカト考ヘルノデアリマス、從ツテ今回ノ法律改正ニ於キマシテハ、其處迄申上ゲルノハ如何カト考ヘマスカ、サウ云フ點モ十分考ヘテ居ル

譯デアリマシテ、御話ノ通りニ中小會社ヲドウスルカ、其ノ業績ヲ向上セシムル方法ハドウスルカト云フ點ヲ最モ考ヘタノデアリマス、此ノ中小會社ノ業績ヲ向上セシムルコトガ、所謂日本全體ノ保險業ノ發展ニ最モ大切ナ點デアルト考ヘテ居ル譯デアリマス、結局保險業界ハ監督モアリマスガ、保險業界自身ガ改善シ發展スルヤウニシテ行カナケレバナラヌト考ヘル次第デアリマス

○男爵伊藤文吉君 山岡委員ノ御質問ニ關

聯シテ局長ニ御尋ヲシタイト思ヒマス、ドウモ大會社ハ大キクナレバナル程、互ニ競争ヲシテ新契約ヲ加ヘヨウトスル、從ッテ中小會社ハ伸ビナイト云フヤウナ現狀デアアルノデアリマスガ、統制ヲ致シマシテ、大キイ會社ハ新契約ヲオ互ニ制限シテ行ク、新契約ノ高ニ依ッテ制限シテ行ク、サウシテ中小會社ノ新契約ヲヤッテ行ク上ニ餘地ヲ與ヘルト云フヤウナコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、現ニ外國デモ左様ナ例ガアルノダサウデス、サウ云フコトニ付テ政府ハ何カ御考ガゴザイマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 大會社ノ契約高ガ

年々非常ナ勢ヲ以テ増加スル、是ハ結局中小ノ規模ヲ有スルモノニ取ッテ契約ヲ獲

得スル上カラ、非常ニサウ云フ意味カラ申シマスト障碍デハナイカト思ヒマス、從ッテ大會社ノ新契約ノ高等ニ付テ制限ヲスルコトガ有效デハナイカト云フ御話デゴザイマシタガ、サウ云フコトヲスルト云フコトニナレバ、非常ニ效果ハ靦面デアラウカトモ考ヘマスガ、御承知ノ通り、此ノ保險會社ノ賣出シテ居リマスル保險ハ色々種類ガゴザイマス、謂ハバ商品デゴザイマシテ、需要スル人ノ好ミニ依ッテ保險ニ掛ルヤウナ關係モゴザイマス、又其ノ需要ノ多イ方面ヲ今申上ゲタヤウナ關係ニ於キマシテ制限ヲスルコトハ、保險ノ性質カラ申シマシテ、餘リ適當デハナカラウカト考ヘテ居リマス、併シ御趣旨ノ點ハ能ク了承シテ居ル譯デアリマシテ、是等ノ方法ニ依ラズシテ御話ノヤウナ程度ノ效果ヲ擧ゲル方法ガアリハシナイダラウカ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテ研究致シテ居リマス、併シ此ノ點ハ非常ニ保險會社ノ營業政策上關スル所ガ大キイノデゴザイマシテ、是等ノ點ニ付キマシテ申上ゲルコトハ御赦シテ願ヒタイト思ヒマス

○山岡萬之助君 今政府ノ御答ニナリマシ

タ中ニ、各會社ノ保險契約ノ體様ハ商品ノモノガアルト云フ御話デアリマスガ、確

カニ其ノ通りデアリマシテ、保險ノ未ダ幼稚ノ時代ニハ終身保險、養老保險ト云ッタヤウナコトデ、極クマア單調ナコトデアッタガ、近頃ニナルト云フト、一社ノ中デ爲シテ居ル事柄デモ色々體様ヲ備ヘテ居ル、從ッテ各社トモ相當ナ特徴ヲ持ッテ居リ、色々ナ形ヲ取ッテ居ルト思フノデアリマス、ソコデ新契約ヲ募集スル、即チ新シイ考ヘ方ヲ以テ競争スルト云フコトニナル、此處ガ矢張り競争ト云フコトガイケナイ、統制ヲシナクチャナラヌト云フ考トハ全ク相對立シテ、更ニ矛盾シテ來ル、此ノ頃統制ト云フコトヲ申ス以上ハ、確カニ其處ニ企畫統スカラ保險ノ方法ト云フモノヲモット單純化シテ、政府自ラ御研究ニナッテ、是ハドウシテ見タ所デ今モ御話ガアッタヤウニ業界ガ好クナルト云フコト、或ハ保險會社ダケガ都合ノ好イ保險ノ形態ヲ取ルト云フヤウナコトヲ捨テ置クコトハ確カニナイト思ヒマス、既ニ統制シ監督ヲ強化スルト云フノナラバ、ドウシテ見タ所デ業界全體ガ大體ニ於テ規格ヲ一ニシタル所ノ保險契約ノ體様ヲ持タナクテハナラヌト思フ、サウ云フコトモ自然統制ト云フコトヲ御考ニナッタ以上ハ、議論ハ確カニ政府當局或ハ委員會ト

○政府委員(牧橋雄君) 現在各會社ノ取

扱ッテ居リマス保險ノ種類ノ多イコトハ御示ノ通りデゴザイマス、是等ニ付キマシテハ現在餘リ契約モ取レナイヤウナ保險モゴザイマス、併シ色々會社ニ於キマシテ考ヘテ賣出シテ居リマスガ、或ハ需要ニ投ジナカッタモノガアルノデアリマス、是等ノモノハ次第ニ整理ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス、御話ノヤウナ意味ニ於ケル單純化ノ必要モアラウカト考ヘマス、澤山ゴザイマシテ

カ其ノ他ノ調査會トカ云フ方面デナサレテ居ルト思フノデスガ、保險契約ノ體様ヲモウ少シ單純化シ、實際ニ於テ業界ノモノヲ眺メテ見ルト、恐ラクアレヲ皆知ッテ居ル人ハナカラウト思フ、説明ヲ聽イテ漸ク分ル、ソナコトデハ國民ノ保險ト云フモノニ對スル關心ガアッテ見タ所デ、保險ニ加ッテ行クト云フコトニ付テ色々考ヘナケレバナラヌ、實ハ分ラヌノダト云フ結論ニ到達スルト思フノデス、デスカラモット御研究ニナルコトモアルト思フノデスガ、單純ニシテ最モ善キモノヲ作ル、サウシテソレヲ各會社ニ於テヤッテ行クノダ、妙ナ形ノモノハ許サヌト云フ態度ヲ執ラレルコトガ宜クハナイカト思フノデスガ、在來ノ御研究ナリ御考ナリヲ承リタイ

○政府委員(牧橋雄君) 現在各會社ノ取

扱ッテ居リマス保險ノ種類ノ多イコトハ御示ノ通りデゴザイマス、是等ニ付キマシテハ現在餘リ契約モ取レナイヤウナ保險モゴザイマス、併シ色々會社ニ於キマシテ考ヘテ賣出シテ居リマスガ、或ハ需要ニ投ジナカッタモノガアルノデアリマス、是等ノモノハ次第ニ整理ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス、御話ノヤウナ意味ニ於ケル單純化ノ必要モアラウカト考ヘマス、澤山ゴザイマシテ

モ、私共其ノ局ニ居リマスル者デモ、所謂「アクチュアリイ」ノ説明ヲ能ク聽カナイト能ク分ラナイト云フヤウナ者サヘゴザイマス、是等ハ保險ノ知識ノナイ者ニ取リマシテハ迷惑ナ話カモ知レナイト思ハレルノデアリマシテ、サウ云フモノニ付テハ將來研究致シマシテ、サウシテ是ダケ發達シタ日本ノ保險界ニ適スルヤウナモノノミヲ、今後ハヤラセルト云フヤウナコトヲ考ヘルコトガ必要デハナカラウカト云フヤウニモ考ヘテ居ル次第アリマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 他ニ御質疑ハ

…別ニナケレバ續イテ御説明ヲ願ヒマス
○政府委員(牧橋雄君) 第七章清算カラ御説明申シマス、清算ハ現行法ト同ジデゴザイマシテ、第三百三十二條ハ清算人ニ關スル規定デゴザイマス、現行法ノ第十三條ノ二ガ之ニ該當致シマス、第三百三十三條ハ清算人ノ報酬ノ規定デゴザイマシテ、現行法ノ第十三條ノ三ガ全然同ジ意味デアリマス、第三百三十四條ハ會社解散後ノ支拂ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ七十八條ト全然同ジ趣旨デゴザイマス、第三百三十五條ハ新商法第四百二十三條第二項ノ規定、即チ是ハ辨濟ノ許可ニ關スル規定デアリマスガ、其ノ規定中「裁判所」トアルヲ保險會社

ニ付テハ之ヲ「主務大臣」トスルト云フ規定デゴザイマス、是ハ保險會社ノ清算ニ付テハ主務大臣ガ監督スル關係ニアリマス爲ニ、主務大臣トシタ譯デゴザイマス、第三百三十六條ハ清算ノ監督ニ關スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ第十三條ノ二項ト全然同ジデゴザイマス、第三百三十七條ハ解散後ノ會社財産ノ管理等ノ規定デゴザイマシテ、契約者保護ヲ主トスル規定デゴザイマス、第八章ハ罰則デゴザイマシテ、大體ニ於キマシテ罰則ノ規定ハ現行法ト新シク改正サレマシタ商法トノ關係ヲ見マシテ、其ノ釣合ヒ等カラ改正ヲシタノデゴザイマス、第三百三十八條ハ現行法ノ九十七條ニ規定ガゴザイマシテ、免許ヲ受ケズシテ保險事業ヲ營ミタル者ノ罰則デアリマス、第三百三十九條ハ特別背任罪ノ規定デアリマス、商法ノ四百八十六條ニ對應シテ規定シタノデゴザイマス、御承知ノ通り商法ハ株式會社タル保險會社ニハ當然適用ガゴザイマス、此ノ百三十九條ニ於キマシテハ、今申上ゲマシタ商法ニ於テ賄ヘヌモノニ付キマシテ本法ニ規定シタ譯デアリマシテ、商法四百八十六條トノ釣合ヒヲ考ヘテ規定シタモノデゴザイマス、第四百十條ハ社員、保險契約者、總代ノ犯罪ノ規定デゴザイマス、是ハ商法

ノ四百八十七條ニ對應スル規定デゴザイマス、第四百四十一條ハ商法ノ四百八十八條ニ對應スル規定デゴザイマシテ、前二條ノ未遂罪ニ罰スル旨ノ規定デゴザイマス、第四百四十二條ハ商法四百八十九條ニ對應スル規定デゴザイマシテ、現行法ノ九十八條ノ三ト同一ノ趣旨ヲ持ツテ居リマス、第四百四十三條ハ商法ノ四百九十二條ニ對應スル規定デゴザイマシテ、前四條ノ罪ヲ犯シタ者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ得ル旨ノ規定デゴザイマス、第四百四十四條ト第四百四十五條ハ瀆職罪ノ規定デゴザイマス、第四百四十四條ハ商法四百九十三條ニ對應スル規定デアリマシテ、不正ノ請託ヲ受ケテ財產上ノ利益ヲ收受シ、要求シ又ハ約束シタル場合ノ罰則デアリマス、第四百四十五條ハ四百九十四條ニ對應スル規定デアリマシテ、此處ニ規定スル事項ニ付テ不正ノ請託ヲ受ケテ財產上ノ利益ヲ收受シ、要求シ又ハ約束シタル場合ノ罰則ヲ規定シテ居リマス、第四百四十六條ハ沒收ト追徴ノ規定デゴザイマシテ、商法四百九十五條ニ對應スル規定デアリマス、第四百四十七條ハ刑ノ減輕、免除ノ規定デアリマシテ、商法四百九十六條ニ對應致シテ居リマス、第四百四十八條ハ保險計理人ノ確認義務ニ關スル規定デ

アリマシテ、正當ノ事由ナクシテ確認ヲ爲サナイ場合、又ハ不正ノ確認ヲ爲シタル時ノ罰則デアリマス、四百四十九條ト百五十條ハ法人又ハ代表者處罰ノ規定デアリマシテ、此ノ二條ハ無免許ノ事業ニノミ適用ガアルノデアリマス、最近ノ立法例等ニ做ツテ規定ヲ定メタ譯デアリマス、「第三百三十八條」トアルノハ無免許保險ニ關スル規定デアリマス、第五百一十一條ハ「本章ノ罰則ハ其ノ行爲ヲ爲シタル取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人ニ之ヲ適用ス」ト云フ規定デアリマシテ、例ヘバ保險管理人ガ保險會社タル法人デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、適用ガアラウカト考ヘマス、第五百十二條ハ過料ニ關スル規定デアリマシテ、主トシテ商法ノ四百九十八條ト釣合ヒヲ取ツテ規定シタ譯デアリマス、現行法ノ九十八條等ト對應スル規定デゴザイマス、六十一頁ノ第五百五十三條ハ保險計理人ガ主務大臣ノ諮問ニ應ジマシテ答申ヲスルコトニナツテ居リマスガ、其ノ答申違反ニ關スル罰則ノ規定デアリマス、商法ノ四百九十八條等ヲ參照致シマシテ規定シタ譯デアリマス、第五百五十四條ハ第四條第二項名稱ニ關スル規定デゴザイマスガ、其ノ名稱制限ノ規定ニ違反シタル者ニ付テノ罰則デゴザ

イマス、第五百五十五條ハ商法ノ二十二條ニ
對應シタ規定デアリマシテ、不正ノ競争ノ
目的ヲ以テ相互會社ノ登記シタル名稱ト同
一若シクハ類似ノ商號若シクハ名稱ヲ使用
シ又ハ不正ノ目的ヲ以テ他ノ相互會社ノ事
業ナリト誤認スルヤウナ商號若シクハ名稱
ヲ使用シタ者ノ罰則ニ關スル規定デアリマ
ス、第五百五十六條ハ過料ヲ課スル場合ノ手
續ノ規定デアリマシテ、是ハ多クノ立法例
ニゴザイマス通りデアリマス

○山岡萬之助君 一點疑義ヲ正シテ置キタ
イト思ヒマス、此ノ清算ノ第三百二十二條ハ、
免許ノ取消ノトキダケ清算スルト云フヤウ
ナコトデスガ、後ノ解散ノ場合ノ跡始末ハ
ドウ云フコトニ考ヘラレテ居ル譯デスカ、
○政府委員(牧植雄君) 第二項ニ商法ノ規
定ヲ書イテ居リマスガ、之ニ依リマシテ免
許ノ取消後ニ於テ解散シタ場合以外ノ場合
ノ清算人ノ選任ニ付キマシテハ、規定ガア
ル譯デゴザイマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 外ニ御質疑ガ
ナケレバ、其ノ次ノ御説明ヲ願ヒマス
○政府委員(牧植雄君) 附則ニ付テ御説明
申上ゲマス、大體附則ハ商法ニ倣フ譯デ
アリマシテ、第五百五十七條ハ施行期日ヲ定
ムル規定デアリマス、第五百五十八條ハ新商

法施行法第二條ニ對應シタ規定デゴザイマ
シテ、本法施行前ニ生ジタル事項ニモ亦本
法ヲ適用スル、但シ從前ノ規定ニ依ッテ生ジ
タル效力ヲ妨ゲナイト云フ趣旨デゴザイマ
ス、第五百五十九條ハ現行法ノ百四條乃至百
十四條ニ別ニ規定ヲ置イテ居ルノデアリマ
ス、「明治三十三年七月一日前設立シタル保
險會社」即チ現行法ノ事業免許ヲ受ケナイ保
險會社ニシテ、「本法施行ノ際現ニ存スルモ
ノハ本法ニ依リテ事業ノ免許ヲ受ケタル保
險會社ト看做ス」ト云フ規定デアリマス、
第三百六十條ハ「從前ノ規定ニ依リテ爲シタル
認可、處分其ノ他ノ行爲ハ本法中ニ相當
スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之
ヲ爲シタルモノト看做ス」ト云フ趣旨ノ規
定デアリマス、第三百六十一條ハ新商法施行
法中相互會社ニ準用スベキモノヲ準用シマ
シテ、株式會社ト鈞合ヒテ取ル趣旨ノ規定
ヲ列ベテ居ル譯デゴザイマス、第三百六十二
條ハ新商法施行法六十三條ト第三百六十六條ト
ノ鈞合ヒテ取ツタ規定デアリマシテ、「本法
施行前ニ會社ガ資本減少ノ決議ヲ爲シ又ハ
各會社ガ保險契約移轉若ハ合併ノ決議ヲ爲
シタル場合ニ於テハ其ノ資本減少、保險契
約移轉又ハ合併ニ付テハ從前ノ規定ヲ適用
ス」ト云フ旨ノ規定デアリマス、第三百六十

三條ハ重役ノ兼業禁止ニ關スル經過規定デゴ
ザイマシテ、銀行法ノ例ニ倣フテ居リマス、「本
法施行ノ際現ニ保險會社ノ常務ニ從事スル
取締役若ハ監査役又ハ支配人ニシテ他ノ會
社ノ常務ニ從事スル者ハ本法施行後一年ヲ
限リ第六條ノ規定ニ拘ラズ主務大臣ノ認可
ヲ受ケズシテ引續キ其ノ會社ノ常務ニ從事
スルコトヲ得」ト云フ旨ノ規定デゴザイマシ
テ、銀行法ニ倣フテ規定シタ譯デアリマス、
第三百六十四條ハ保險計理人ニ關スル經過規
定デゴザイマス、「本法施行ノ際現ニ生命保
險會社ニ於テ保險數理ニ關スル事項ヲ擔當
スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行後
三年ヲ限リ之ヲ本法ニ依ル保險計理人ト看
做ス」ト云フ趣旨ノ規定デアリマス、第三百六
十五條ハ新商法施行法第六條ニ對應スル規
定デゴザイマシテ、「本法施行前ニ商號又ハ
名稱ヲ使用シタル場合ニハ之ヲ適用セス」ト
規定シテ居リマス、第三百六十六條ハ新商法
施行法七十二條ニ對應スル規定デアリマシ
テ、「本法施行前ニ從前ノ第五章ノ規定」即
チ罰則ノ規定デアリマスガ、罰則ノ「規定ヲ
適用スベキ行爲アリタルトキハ本法施行後
ト雖モ其ノ規定ヲ適用ス」第二項「本法施
行後從前ノ規定ニ依ルベキ場合ニ於テ從前
ノ第五章ノ規定」即チ罰則ノ規定ヲ適用ス

ベキ行爲アリタルトキハ第八章ノ規定」矢
張り罰則ノ規定ヲ適用ス」ト云フ趣旨デア
リマス、第三百六十七條ハ過料ノ場合ノ規定
デゴザイマシテ、是ハ先程商法第五百十六
條ニ付テ御説明申上ゲマシタ通りデアリマ
ス、第三百六十八條ハ商法中ノ署名スベキ場
合ニ關スル件ト云フノトノ鈞合ヒテ取ツタ
規定デゴザイマシテ、本法ニ依リ署名スベ
キ場合ニ於テハ記名捺印ヲ以テ署名ニ代フ
ルコトヲ得ル旨ノ規定デゴザイマス、第百
六十九條ハ現行法ノ第一百五條ノ字句ヲチ
ヨット改メタ位ニ過ギマセテ、第七十條ハ
「本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム」ト致シマシテ、施行勅令ノ規定デ
ゴザイマスガ、新商法ノ施行ト鈞合ヒテ取
ルヤウナ關係カラ、本法ガ動カスト云フヤ
ウナ場合ガ或ハ生ズルカモ知レナイ、サウ
云フ場合ニ於キマシテ適當ニ處スルコトノ
出來ルヤウナ、萬全ヲ期スル意味ニ於テ置
イタ規定デゴザイマス、甚ダ簡單デゴザイ
マスガ、是デ一應御説明ヲ終リマス

○山岡萬之助君 第五百五十九條ノ舊規定デ
出來マシタ會社ハドンナ會社デアリマスカ、
參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス
○政府委員(牧植雄君) 生命、損害各、十社
宛ゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 施行期日ハ凡ソドノ位ノ豫定デゴザイマセウカ

○政府委員(牧橋雄君) 色々準備ガゴザイマスシ、商法トノ關係上、大體ニ於キマシテ來年ノ一月一日カラト考ヘテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 サウ致シマス、今ノ第七十條ノ場合ノヤウナコトハ大體起ラナイノデヤナイデスカ、新商法トノ關係ニ於ケル過渡規定ト云フヤウナモノハ……、唯施行勅令ト云フヤウナ風ニ考ヘテモ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(牧橋雄君) 御説ノ通りサウ云フ場合ハナカラウカト考ヘルノデゴザイマスガ、新商法モ非常ニ浩瀚ナモノデゴザイマスシ、此ノ法律モ商法ノ關係ヲ非常ニ澤山持ッテ居リマスカラ、或ハサウ云フコトハ起リハシナイダラウカト云フ立法上ノ幾分心配ガゴザイマスノデ、規定シタニ過ギナイノデアリマス、御説ノ通り殆ドナカラウカト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 別ニ御質問ガナケレバ、今日ハ此ノ程度デ止メタイト存ジマスガ……

○男爵伊藤文吉君 直接關係ガゴザイマセヌガ、簡單ニ質問シタイト存ジマス、先日他ノ委員カラ御質問ニナリマシタ滿洲國ノ

保險業法ニ付キマシテデゴザイマスガ、内地ノ損害會社アタリデ大分不滿不服ガアルヤウニ見受ケマスルシ、ドウ云フ點ガ内地ノ保險業法ト違ッテ居リマスカ、ドウ云フ點ガ苦情ノ種ニナッテ居リマスルカ、外國會社モ同様ニ苦情ヲ言ッテ居ル所ヲ見マスルト、滿洲國ノ法律ハ内地ノ會社ニ對シテモ、第三國ノ會社ニ對シテモ、同様ナ取扱ヲ爲シテ居ルヤウニ思ヒマスルノデスカ、其ノ邊ノ内容ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(牧橋雄君) 滿洲ノ損害保險ニ關シマシテ、今交渉中デアルコトガゴザイマス、ソレハ滿洲側ニ於キマシテ、向フニゴザイマスル損害保險會社ノ發展ヲ圖リタイト云フ意味カラ、或程度内地ノ損害保險會社ノ事業ニ制限的ナ事項ヲ實施シタイト云フ考ヲ以テヤッテ居ルノデゴザイマス、滿洲トノ損害保險ノ問題ニ付キマシテハ、關係當局モ入りマシテ、出來得ル限り本邦側ノ保險會社ノ既得權益ヲ尊重セシムルト云フコトニ、抽象的ナ取極メハナッテ居ルノデアリマスガ、併シ一方滿洲側ノ保險會社ノ發展モ圖リタイト云フ滿洲側ノ考ヲ容レマシテ、或時期トソレカラ程度トニハ今後モ相談ヲシナクテハナラナイ點ガゴザイマスガ、矢張り向フノ希望モ容レルト云フヤ

ウナ意味ノ協定ガゴザイマス、然ルニ最近ニ至リマシテ、此ノ保險取引上最モ重要ナ關係ヲ有スル所ノ代理店ニ付キマシテ、滿洲國側ハ或種ノ制限ヲ加ヘテ參ッタノデゴザイマス、此ノ代理店ニ關スル制限ヲ加ヘラレルコトニ依リマシテ、日本側ノ保險會社ノ今後ノ營業ニ若干ノ影響ガアルノデゴザイマシテ、其ノ滿洲側ノヤリ方ノ點ニ付キマシテ、少シ行キ過ギノ點ガアリハシナイカト考ヘラレル點ガゴザイマスノデ、目下強硬ニト申シテハ何デゴザイマスガ、折衝ヲ重ネテ居リマス、併シ大體此ノ問題ハ圓滿ニ片付クト考ヘテ居ル譯デゴザイマスガ、尙今照會モ出シテ居ル譯デゴザイマスガ、其ノ回答等ガ參リマシタラ、更ニ改メマシテコナラノ考ヲ申シテヤリマシテ、少クトモ日本内地ノ保險會社ノ既得權益ヲ急激ニ阻害スルヤウナコトノナイヤウニシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵伊藤文吉君 只今政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、目下交渉中ト云フ御話デアリマスルガ、サウ致シマス、マダ滿洲國ノ新保險業法ト云フモノガ施行セラレテ居ナイノデアリマセウカ、ソレカラモウ一ツハ、大體保險事業ノ如キモノハ、内地ニ十分經驗濟ミデアルシ、非常ニ公正適當ナ

法令モ出テ居ルノデアリマス、滿洲國モ大體之ニ做ッテ然ルベキデヤナイカト思フノデアリマス、ドウモ滿洲國ガ此ノ際排他的ナ獨占的ナ方針デ保險業法ヲ作ラレルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト思フノデアリマス、未ダ新保險業法實施ニ至ラズ交渉ノ餘地ガアリマスルナラバ、其ノ邊ノ意味モ能ク徹底シテ、從來ノ御經驗ニ徵シテ、餘リ内地側トノ摩擦ガナイヤウニ、又外國トノ摩擦ガナイヤウニ御盡力願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(牧橋雄君) 滿洲國ノ保險業法ハ一昨年ノ十二月ニ公布ト同時ニ施行ニナッテ居ルノデゴザイマス、大體我方國ノ保險業法ヲ做ッテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ違ッテ居ル點ノ一ツト致シマシテ、代理店ノ認可制度ト云フモノガゴザイマス、之ニ關聯シタ問題ガ今ゴザイマシテ、先程申上ゲマシタ目下交渉中デアルト申上ゲタノハ、此ノ點ニ關スル問題デゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 ソレカラ團體保險ノ成績ハ大體ドウ云フ風ニナッテ居リマセウカ、此ノ際一ツ……

○政府委員(牧橋雄君) 團體保險ハ仕組ガ宜シイト申シマスカ、非常ニ成績ガ良イノデアリマシテ、私共トシテハ非常ニ喜ンデ

居ル譯デアリマス、唯一昨年勃發シマシク
今ノ時局ノ關係ニ於キマシテ保險金ノ支拂
ガ、此ノ時局關係ニ於キマスル支拂ガ幾分
嵩ンデ居リマス、併シ之ヲ考ニ置カズニ見
マスルト非常ニ良イ成績ヲ擧ゲテ居リマス、
今後相當ナ規模ヲ有スルモノハ必ズ團體保
險ニ加入致シテ行クヤウナ傾向ニアリマシ
テ、今後ノ成績ハ非常ニ宜シカラウト云フ
ヤウニ考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) モウ別ニ御質
問ガナケレバ今日ハ之デ散會致シマス、次
ノ委員會ハ明日日本會議ガアレバ明日ノ午後
一時半カラ、若シナケレバ明後日ニ本會議
ガアルトスレバ又一時半カラ開キマス、ソ
レデハ之デ散會致シマス

午前十一時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵樺山 愛輔君

副委員長 男爵矢吹 省三君

委員

公爵山縣 有道君

侯爵淺野 長之君

子爵梅小路定行君

子爵上原七之助君

男爵伊藤 文吉君

男爵中村 謙一君

政府委員

商工省保險局長 牧 檜雄君

山岡萬之助君

下出 民義君

藤原銀次郎君

大藪 守治君

昭和十四年三月十五日印刷

昭和十四年三月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局